

地区復興まちづくり便りへの意見等

※○番号は第1回、第2回資料で紹介したものの再掲です。

■検討会の進め方・メンバーについて

| | |
|---|---|
| ① | ・構成メンバーが自分の職種にこだわらず客観的に検討して欲しい。いろいろな意見を吸い上げて町づくりからこぼれる人が出ないように。 (50歳代 男性) |
| ② | 用紙等での意見提出のほかにも、以前のコミュニティで話し合いや意見交換できる場がもてればと思います。もとの町内の方も離れ離れになっており、先立ちになってくれる方も？の状態です。 (女性) |

■防潮堤などについて

| | |
|---|---|
| ① | 県では、鉾ヶ崎、日立浜地区に防潮堤を作ることで決まったはずですが、何か無駄なことをしていませんか？5～6年前より鉾ヶ崎地区、日立浜地区に防潮堤を設置しようと働きかけて、昨年～今回初めに地盤調査も終わり設置の方向で進んでおりました、今回の震災で実証されたはずですが。それなのに何で同じことを繰り返すのですか。(復興パターンA～Dまでのこと)1番に防潮堤を造る。高台や市内に移転を考えるべきではないか。決断も必要では。 (匿名) |
| 2 | 防潮堤について、減災・人命・財産を守り安心・安全の街づくりに大いに役立つ。 (検討会メンバー) |

■今後の住まいについて

| | |
|---|--|
| ① | 嵩上げし元の場所に住みたいと思っていますが、可能であれば。 (60歳代 女性) |
| ② | 私が望むのは海から離れたところに住みたいということです。このままの状態では新築も無理です。土地を国で買ってくれるとか何か方法をお願いします。そうでなければ早い時期に3階建てくらいの公団等をつくってほしいです。港町には木を植えて欲しいです。 (50歳代 女性) |
| ③ | 鉾ヶ崎上町地区は「あかつち山」と呼ばれるラサ工業の土地？か高台に土地があり、そこへの移転もいいかなと思います。 (女性) |
| 4 | 宅地を新しく作るより、中里団地の市営住宅が空いているからそこに市営住宅を作り、仮設に入っている人達で、市営住宅でいい人達を入れていけば新しく宅地を作っていくより早く進むのではないのでしょうか。 ①中里団地、市営住宅に住んでいる方を一時的に仮設に移ってもらう。 ②中里団地の市営住宅を新しくする。 (検討会メンバー) |
| 5 | 高台の宅地造成 (1) 佐原地区…宮古病院が近く高齢者が望んでいる事 (2) 鉾小裏山…東西熊野町の防災と鉾小校庭冠水して避難所として不適である。 (検討会メンバー) |

■まちづくりについて

| | |
|---|---|
| ① | 浸水地区毎の高台移転と平行して国道沿いに小都市的な機能を持つものを作る。 (50歳代 男性) |
| ② | 鉾ヶ崎地区は裏の東側地区からも波が来て当地区の大半が壊滅したので先ず面前は裏側の西側は国道近くまで掘って地盤を平らに上積し、そこに今迄通り商店街を作るべきです、道路は |

| | |
|---|--|
| | <p>広くて東側南側は事務所を建て並び今の海岸道は、高さ3m程の防波堤と東側へ行く車道にすべきと思う。街造りは北側の山を削って2~3段にし、削った山砂をいれて町道をつくり早く建てさせます。そこを埋める土砂が少ない時は海の底や小学校裏から土砂を運んで埋める方法が良いと思う。また海側は2m位の防波堤とし住宅の下側の段と合わせれば5m程になるかもしれません。下段以下の下地は土砂で少し高くして平地とし、加工場等の建設地にします。これ以外の方法は無いと思います、尚東側の津波の来たところは防波堤を作ります、何れも事後処理が遅れています私なら3ヶ月後には取り組んでいます何をしていますのですか、早急に願います。</p> <p style="text-align: right;">(80歳代 男性)</p> |
| ③ | C案かD案がよい。県道は2本はいらぬのでは。 (女性) |
| 4 | 期限付きのまちづくりで予算等の関係も有り、中々良い考えが出ません。実現性も踏まえ良い土地利用が出来ればと思っております。又、皆様の良いアイデアを期待しております。(男性) |
| 5 | <p>第一回の検討会で示されたD案に沿い居住地域が嵩上げされ住宅が建設される場合には、何らかの規制をして統一された住宅街にすれば観光的にも美観も、住みやすさが強調されるものと思います。今流の建物を建てたい人も在るでしょうし、純日本風を建築したい人も在るでしょう。しかし、今までの様に自由放態にしては新生鎌ヶ崎としては、余りにも単純過ぎます。そこで、中心地区は規制をかけて統一された家屋群とし、それを嫌う方は中心より離れた場所に建築して頂くのは如何でしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(男性)</p> |
| 6 | <p>第1回で集約した4つの大きな方針はいいと思う。</p> <p>1、水産業を中心とした活気あるまち</p> <p>漁民あつての水産業であり、鎌ヶ崎街である。震災を乗り越え再び水産業に従事しよう、また、若者が水産に情熱を燃やす環境は如何にあるべきか。高齢者も若者も、個人では土地も家も持てる余裕はないと思う。公営の漁民向けの土地区画、作業場つき住宅が必要である。</p> <p>2、観光による活性化</p> <p>盛漁期に合わせた魚市場観光の施設をつくる。出崎埠頭から街を経て浄土が浜への歩道を(車いすも通行可能な)整備する。</p> <p>清水川沿いは、両岸に堤防を設け、子供も遊べる公園にする。改めて別な個所に公園は必要ないと思う。</p> <p>3、安全で安心して暮らせるまちづくり</p> <p>漁民の住まいは、作業場や船あげ場の近くが作業も管理もしやすい。居ながらに海の様子がわかり、自分の船も見える。防潮堤の内側に、公設漁民住宅(仮称)を防潮堤高さ以上の階に造り、その下部は、入居者の作業場とする。また、民宿経営を兼業とする人、遊漁船営業をする人等の区画施設についても考える。</p> <p>4、自然や健康づくりが楽しめるまち</p> <p>蛸の浜、浄土が浜、臼木山など健康づくりお楽しみ場所は十分あるので、改めて公園用地はいらぬ。下水道を完備し、清水川沿いを公園化すればいい。</p> <p>5、老人も子供も住みたいと思うまち</p> <p>清水川沿いを子供や高齢者が集まって楽しめるようにする。見晴らしのいい小高い所に公衆浴場があり、街には日用品や駄菓子屋、食品店があればいい。徒歩で買い物、必要なものがそろうまちにする。商店街は街の中心部に置くほうがいい。外来船船員の癒しなどにも配慮した</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>まちづくりがほしい。</p> <p>6、その他</p> <p>「鉄筋コンクリート造りの商業業務ビル」とか「津波避難ビル」とか漁民の街には合わないイメージである。「漁民ビル」が漁業の町にふさわしい。復興のシンボルに「漁民ビル」を考えたらどうですか。また、磯漁業小型船の荷揚げ岸壁が大型船の荷揚げ場と共用することは危険がある。岸壁の高低差による荷揚げ作業の難しさや接触事故等である。磯鶏小型船の岸壁、集荷市場を設けること。大型船市場の狭隘の解消にもつながります。漁業活性化のために養殖漁業、漁場の充実と合わせて、漁民、水産課とともに話合う事が大事である。この検討委員会は全般的に漁民生活に配慮が足りないように思う。ランドブレインは都市化を目指す前にもっと「漁民や漁業の町」を目指した考えを入れるべきと思う。 (男性)</p> |
| 7 | <p>住環境の整備のため余裕ある宅地・街づくりのため鯉小跡地の利用（下水道・河川の整備） (検討会メンバー)</p> |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・1月9日鯉ヶ崎地区復興会議の説明会、意見交換会は、たまたま見た岩手日報で知り参加しましたが、参加したいと思っている皆に周知できる広報等への掲載を今後はお願いしたい。参加できてよかった。震災以降も日にちは経っても今後の見通しがたたず、復興委員さんのご苦勞は大変なものと感じながらも、なにも見えない（広報紙面上でしか）こと、地元をちょっと離れてしまい何の情報もないことから、もどかしさや不安も募っているのは私だけではないと思います。町内会での集まりでもあればつながりを感じられるのかもしれませんが、鯉ヶ崎に戻ってきたい。または鯉ヶ崎に住みたいと思えるようなまちにしたい。長く地域から離れていると戻りたい気持ちも薄れてしまうことも往々に考えられるので、気持ちのつながりを切らせないようななにかがあればと思います。 ・都市計画もあるとは思いますが元の町内会に戻れるような構想をお願いします。以前よりお互いを思いやったり、協力したり、つながりの深い地域の関係を期待します。 ・堤防や道路などの造成も居住区との高低差のないプランでどの年代の方も住みやすく暮らしやすいようにしてほしい。 ・各町内会の話になるとは思いますが、町内会の住民がそれぞれどこに今居住しているか、会長さんは把握しているのでしょうか。仮設やアパート等に移っても気持ちは元の町内のつもりでいる人は多いと思います。なにかの連絡は取れるようにしておいてもらえるといいです。 ・復興委員さんの負担を大きくしないよう協力できる方にいろいろ仕事を投げかけてもいいと思います。みんなで力を合わせて進んでいけたらいいと思います。 (女性) |
| 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・嵩上げ居住区域はできるだけ多く残してほしい。広い道路、巨大な防潮堤、商業地域は確かに重要だが、今後住人を増やせないようではだめだ。“安全だ”となれば市街地から移住者も出てくる（必ずいます）。鯉ヶ崎に戻りたい人が〇%とかで考えないでほしい。商業地域、防潮堤は埋め立てて作ることも考えられないか。とにかく人は元よりも増やす前提として考えてほしい。 ・嵩上げは10m級としてほしい。鯉ヶ崎の存在意義として、景観は重要。10mの防潮堤、外側に商業施設というのなら、防潮堤は無しとし、その分全力を巨大な嵩上げに投じたほうがいい。安全も景観も居住面積もその方が良い。 |

| | |
|--|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道は嵩上げ高さと同じにしてほしい。老人は道路と家に高低差があつては大変。 ・ 鉾ヶ崎復興スローガン、復興マスコット、復興決起大会（運動会など）等、精神的な柱を作って盛り上げてはどうか。鉾ヶ崎人は個人プレーが多すぎる。近年のさびれ具合の原因はこれだと思う。このたびの震災を機に、くくり直しができるのではないだろうか。 ・ 1月9日の復興会議報告会開催は本当にありがとうございました。検討会メンバーだけで頑張らず、各町内メンバーに仕事を振ってもらって結構と思います今回のように両者の意見交換の場（町内会単位でも良い）を設けて下さい。よろしくをお願いします。 ・ おそらくこれまで検討会と住民とでけん制し合っていた感じがあったと思います。今回の報告会で“色々やっているんだな”と思った方が多いと感じました。これまで検討会メンバーがどのような経緯で選ばれたかわからず、さらにその様子が広報を通じてしかわからず、検討会メンバーと連絡をとるわけにもいかず不安でした。先に記しましたが、もっと住民に仕事を降って下さって結構と思います。連絡網、会場設営、撤去など、色々ふって頂いた住民としてもよいと思います。（特に若い人に） | （30歳代 男性） |
|--|-----------|

■施設について

| | | |
|---|--|-----------|
| ① | <p>愛宕小学校が閉校となった時跡地を市民公園なりスポーツ施設としテニスコートなどを作り現在宮古一中は河川敷が使えず近くの公園コートを自分たちで作って練習しています、スポーツ施設、道の駅、買い物を楽しめる街、魚市場とつながり集客を見込めると思います、勿論津波の時は山に逃げる道もつくります。</p> <p>なあどの道の駅は市民にとっても観光客にとっても重要な施設だと思います。ただ前の場所は地盤沈下していることを考えても危険だと思います。是非空洞化してしまった愛宕地区づくり、皆の交流地点にすることで寂しくなった中央通りと鉾ヶ崎をつなぐ活気あるルートになると思います。宮古はもともと浄土ヶ浜以外に観光客が来ても立ち寄る場所が市内に無かったので今なら出来る街づくりをした方がいいと思います。歩いて街を楽しめるような、市場もつながる街。うまくつくって参考になると思うのが伊勢神宮近くの「おかげ横丁」や山梨淵沢のホテルを中心としたまち、新潟県長岡市寺泊の魚市場など参考になると思います。</p> | （40歳代 女性） |
| 2 | <p>鉾ヶ崎小学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①昭和47年建設され、老朽化している。 ②校庭に冠水して避難所として不適である。 ③北側を造成して、鉾小を新築移転（避難所）をする。 ④東西熊野町の住環境・防災上の道路整備の念願が果せる。 ⑤鉾小校庭の嵩上げにより、安心・安全の宅地化と整備が容易になる。（検討会メンバー） | |

■観光・産業について

| | | |
|---|--|-----------|
| ① | <p>鉾ヶ崎地区を港町ならではの観光地にし、お土産売り場などの商業地域が好ましいと思います。そして、県、市などで買上げた土地をどの業種にも安価で貸付できるレンタル店舗を作り地域の活性化を図り、水揚げされた魚介類を内陸地方に当日中にお届けする新しい物流改革を行うことにより、宮古市PR、漁業の活性化が期待出来ると思います。</p> | （30歳代 男性） |
|---|--|-----------|

| | |
|---|---|
| ② | <p>鰺ヶ崎は漁師の町です。漁師達が安心して生活でき、浄土が浜をメインに現在の宿場町はパークホテルのみです。今迄は、観光バスは鰺ヶ崎を後にどこに行くやらバスの後を淋しく見送る有様。地元の漁師さん達の力を借り、鰺ヶ崎ならではの食、住、お土産等をよくよく考え抜いて鰺ヶ崎地元にお金を置いて頂けるような方法で考えて頂きたくお願い致します。せっかくの観光地がかawaiiそうです。(70歳代 女性)</p> |
| 3 | <p>やはり、なあどの様な施設は必要だと思います。タラソテラピーは、コスト的にも避難にかかる時間的にも、どうしても必要ではありませんが、産直はある程度のお客様もいらしていましたし、レストランも海を観光にするなら集客には必要だと思います。</p> <p>そこで、『臨海公園』として、道の駅と公園を併せた様な施設にして欲しいです。広い駐車場、子供連れで楽しめる遊具と芝生、赤ちゃんからお年寄り、障害者まで使いやすいトイレ、ファミリーフィッシングが出来る場所(手洗い場も必要)、木や花が多く、観光客が立ち寄っても休める雰囲気があれば素敵です。宮古市の観光資源は海と魚がメインだと思いますので、前のように浄土ヶ浜までの道も凸凹が多く整っていないのは、魅力半減です。臨海公園と浄土ヶ浜を海上バスの様に船で夏場だけでも行き来できれば、海水浴客も利用出来るのではないのでしょうか。駐車場から浜までが遠い今までの浄土ヶ浜より、鰺ヶ崎に車をとめて、船で浜まで行って海水浴を楽しんで、帰りになあどで買い物や軽食を楽しめるなら、さらに海をメインにした観光を皆さんに提案出来るのではないのでしょうか。(20歳代 女性)</p> |
| 4 | <p>水産業について、市経済の基幹産業である水産業の復興は最優先課題であり支えて来た地域住民の街づくりが大事である。(検討会メンバー)</p> |

■コミュニティについて

| | |
|---|---|
| ① | <p>都市計画で新たなコミュニティができるおもひとつではあるでしょうが、長年住みなれたまち、ひと、つながりを大事にしたい気持ちもあります。年配の方は特にもそうだと思います。今回の震災、避難生活で町内の方たちが、今まで以上につながりを感じたり、お互いをいたわったり助け合ったりしたと思います。まちも顔の見えにくいマンション・アパート式の公営住宅より、家での精神的にも閉塞感のない暮らしがしたい。みながもとのまちに戻り安心して暮らせるようなまちづくりとそのための支援を受けられるよう希望します。(女性)</p> |
|---|---|

■道路について

| | |
|---|---|
| 1 | <p>以前は狭く曲りくねっていました。住環境・防災・避難のため、拡巾・直線・嵩上げ・観光道路の整備を促進するように。</p> <p>(1) 浄土が浜への観光道路 (2) 街を活性化する幹線道路 (3) 避難道として直線道の整備(日影町・東西熊野町・蛸の浜等) (検討会メンバー)</p> |
|---|---|